

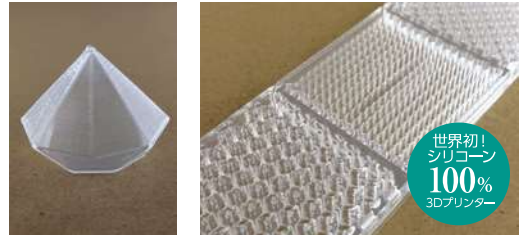
立花エレクトックがおすすめする

FAで使える3Dプリンティング

世界初 液体シリコーン3Dプリンタ

innovatiQ German RepRap L320 3Dprinter

innovatiQ



液状シリコーンゴムやポリウレタンなどの高粘度液体材料にて射出成型よりも優れた強度と耐久性のある部品を生成

多岐に渡る産業用途

多くの産業分野で不可欠なシリコーン。ベビー用品からパソコンのキーボードスイッチまで、ありとあらゆる製品に使用されていますが、建築、自動車、電子、医療、化粧品、繊維などの幅広い分野でも使用されています。需要は、産業内で幅広く、建設産業では、シーラント、接着剤、コーティング剤にシリコーンが必要です。電子産業では、主に電子部品を極端な熱、湿気、塩害、腐食、汚れから保護するためにシリコーンが使用されています。コンピュータ、スマートフォン、LED照明などにも使われており、その範囲は徐々に拡大しています。

-  自動車
-  航空業界
-  医療
-  電化製品
-  食品
-  試作設計
-  研究
-  試作設計

製品仕様

| | | | |
|-----------|-----------------------------------|---------------|------------------------------------|
| 造形ベッドサイズ* | 250 x 320 x 150 mm | オプション | メンテナンス契約、素材 |
| 造形速度* | 10 - 150 mm/s | ソフトウェア | Simplify3D |
| ノズル移動速度* | 10 - 300 mm/s | ディスプレイ | 15.6インチタッチディスプレイ |
| 造形精度* | (X/Y) +/- 0.2 mm | 必要電圧 | AC110V |
| 積層高さ(最小) | 0.22 - 0.9 mm | 外形寸法(B/T/H)** | 800×960×1957mm |
| ノズルオプション* | 0.23 0.4 0.8 mm | 重量 | 約350kg (カートリッジシステムを含まない場合) |
| 素材* | SILASTIC™ 3D 3335 液状シリコーンゴム (LSR) | 使用技術 | LAM(Liquid Additive Manufacturing) |
| エクストルーダー | 上下稼働、材料押出機 | ハードウェア | ローラーおよびスタンド |

* オプションや素材によって異なる場合があります。

** 素材カートリッジとディスプレイを除く

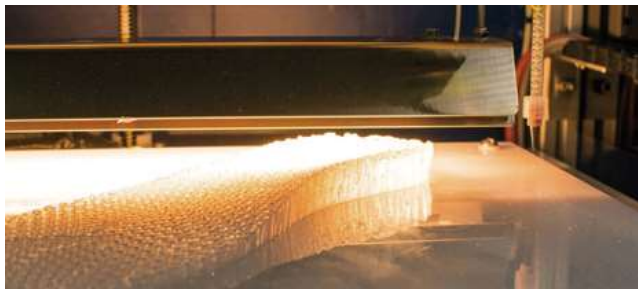


L320がもたらすメリット

- 従来の製造方法で使用されている素材とほぼ同一のものを使用可能
- 従来の製造技術と比較して、時間とコストの大幅な削減、高速なプロセス (Time to Market) が可能
- 試作品は、完全な機能をもつサンプルとしての役割をもっており、各種テスト承認後、大量生産のプロセスまで迅速に進むことができます
- 優れた安定的なプロセスで造形できます

独自の熱硬化システム

特殊なハロゲンランプによって、2つのコンポーネント間を分子レベルでコントロール、硬化を促進します。ハロゲンランプの移動速度により、オブジェクトの大きさに合わせた調整が可能になります。熱硬化と合わせて造形することにより、造形時間が大幅に短縮することができます。射出成形などの従来の製造プロセスと比較して、50%以上の時間短縮が可能になります。さらに、Liquid Additive Manufacturingでは、金型費が不要になるため、大幅なコスト削減にもつながります。



セーフティシステム

セーフティシステムにより、硬化プロセスをモニタリングしています。異常があればシステムに登録され、警告灯やモニターにてお知らせします。また異常が発生した場合、造形プロセスは自動的に停止されます。



使い分け可能なノズル

ノズルを使い分けることで、微細なオブジェクトから大きなオブジェクトまで、最適な時間で造形することができます。アプリケーションに応じて、異なるノズルをルアーロックシステムで使用することができ、ノズルは簡単に交換することができます。ポリウムエクストルージョンの高い供給精度、モジュール化された強固な設計は、様々な産業分野で実証されています。

素材供給システム

材料供給には、カートリッジシステムと、ホルダーが用意されています。カートリッジを使用する際、圧力調整器によって圧力が自動的に調整されます。



高さ調整システム

オートレベル機能は、精密レーザーを用いて測定することで、ハンドリングと造形品質を向上させます。測定は、自動的に造形ベッドの水平になり、造形ベッドがプリントヘッドのレベルに合わせて理想的な高さに調整されます。また、ノズルはレーザーフォーク式フォトセルを使って自動調整されます。人の目では認識できないようなイレギュラーを補正できます。



“技術商社” 立花エレテックの得意技 <http://tachibana-tokuiwaza.com/>

株式会社 立花エレテック 3Dプリンタ課 担当:坂本

TEL: 06-6539-5022 FAX: 06-6539-8825 E-mail: sakamoto@tachibana.co.jp

